



高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rina.maff.go.jp

No.1131 2014年6月号

低コスト化造林現地検討会の開催

5月28日、高知県香美市物部町杉ノ熊山国有林（高知中部森林管理署管内）で現地検討会が開催されました。 【詳細2頁】



現地検討会の様子



低コスト化造林現地検討会を開催

〈森林技術・支援センター〉

地球温暖化防止等の観点

から、今後は間伐に加え、

主伐・再造林を推進してい

く必要があり、そのためには造林の低コスト化を図る

ことが重要です。

こうした中、期待されて

いるのが、活着・生育が良

く、時期を選ばず植栽でき、

伐採と植林の一貫的な作業

を可能とするコンテナ苗で

あり、これを用いることによ

り地拵えや下刈等を含め

たトータルの造林コスト低

減が可能となります。

しかし、高知県ではコン

テナ苗の生産はまだ僅かで

あり、生産の増強が課題となっています。

このため、四国森林管理

局では、種苗業者等へ生

究所や種苗業者、近隣の市

冒頭の挨拶を行う

鶴園森林整備部長



班にわかつて現地視察を行

その後行われた意見交換では、「コンテナ苗やエリートツリーの増産やこ

れを用いた植林の拡大が必要。」「コンテナ苗生産施

設の整備や安定的な購入に

向けた国や県の支援が必要。」など、各々の立場か

ら貴重な意見が出され、関

係者間で認識の共有が図ら

れるなど大変有意義な現地

検討会となりました。

参加者からの質問の様子

町村や森林組合、林業事業

体など六〇余名の関係者が参

加して現地検討会を開催し

ました。

当日は、鶴園森林整備部

長から「検討会では、育

林事業の低コスト化に向け

た情報の共有化を図り、今

後の事業に活かしていくま

しょう。」との挨拶後、二

した。



エリートツリー

ナ苗のほか、昨年度末に四

度初めてとなるエリート

ツリー(第一世代の精英樹)

も植栽されており、岡山県

にある森林総合研究所林木

育種センター関西育種場の

久保田課長からその特徴等

について説明をいただきました。

町村や森林組合、林業事業

に連携し、森林総合研

究所と連携し、森林総合研

究所や種苗業者、近隣の市

冒頭の挨拶を行う

鶴園森林整備部長

地球温暖化防止等の観点

から、今後は間伐に加え、

主伐・再造林を推進してい

く必要があり、そのためには造林の低コスト化を図る

ことが重要です。

こうした中、期待されて

いるのが、活着・生育が良

く、時期を選ばず植栽でき、

伐採と植林の一貫的な作業

を可能とするコンテナ苗で

あり、これを用いることによ

り地拵えや下刈等を含め

たトータルの造林コスト低

減が可能となります。

しかし、高知県ではコン

テナ苗の生産はまだ僅かで

あり、生産の増強が課題となっています。

このため、四国森林管理

局では、種苗業者等へ生

究所や種苗業者、近隣の市

冒頭の挨拶を行う

鶴園森林整備部長



※活着とは山に植栽した苗
木がその後、正常に生育し
ていること。（枯れていな
いこと）

コンテナ苗と普通苗の根
系の比較



四国のツキノワグマの生態
（外縁）を把握するため、
この調査により、ツキノ

今年度は、ツキノワグマ
のおおまかな生息分布域
（外縁）を把握するため、
この調査により、ツキノ

今年度は、ツキノワグマ
のおおまかな生息分布域
（外縁）を把握するため、
島新聞社等の報道機関に同

認してきているところで
す（昨年度は親子グマを撮
影）。

今年度は、ツキノワグマ
の状況を確認することとして
います。

今年度は、ツキノワグマ
の状況を確認することとして
います。



自動撮影カメラ設置状況

ツキノワグマ生息調査 「自動撮影カメラ」設置について

「はしごプロジェクト」

(計画課)

調査等に取り組むNPO

ワグマの四国山地における
大まかな生息分布域の絞り
込みが見込まれるところで
あり、生息個体ごとの行動
範囲の把握など、より詳細
な調査への活用が期待され
ています。

また、当局においては、

国山地緑の回廊」を対象と
して、野生生物の生息実態
等の把握を目的とした調査
を実施しており、これまで
の「緑の回廊」モニタリン
グ調査では、四国において
その絶滅が危惧されている
ツキノワグマの生息を確
認してきているところで
す（昨年度は親子グマを撮
影）。

今後、一一月中旬を目途
に一月に一回程度、撮影
データを回収し画像を分析
して、ツキノワグマの生息
の生息環境の改善に取り組
むことを検討していきたい
と考えています。



自動撮影カメラの撮影モード設定の様子

はテレビや新聞等でも紹介
されました。

技術開発課題に対して貴重な意見が活発に

「第一回技術開発委員会」を開催

森林技術・支援センター

六月一七日、今年度第一 踏まえ開催したもので、主

催しました。

日に行つた、局内委員による「技術開発連絡会議」を



害低減効果の検証

・低コストな造林に繋がる

・今試験地で成果が出なくて直ぐに止めるのでは

シカ食害防止クリップ No.1

①保育作業の省力化による森林育成技術の確立
②囲いわなによる効率的なニホンジカ（以下「シカ」）捕獲試験
③下刈省略化によるシカ食害低減効果の検証

- 林でも使用してみたいので、囲いわなの設置方法等を簡単に説明したマニュアルを作成して頂きたい。
- 囲いわなの購入方法を教えて頂きたい。

・シカ食害対策として一定の成果が出れば有効な方法となるので期待したい。

の四課題について審議をお願いし、意見等を伺いました。

・普通苗に比べコンテナ苗は、一本当たりの単価が高くて重いのが実態で、普及させるためこなどのようないしたい。

試験を行い検証結果を集約して頂きたい。

